



TOTO

自動洗浄小便器(自己発電タイプ)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)



施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

		は、してはけない「禁止」内容です。 左図は、「風呂、シャワー室での使用禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	---	---	---	---

警告

	浴室内などの湿気の多い場所に設置しない 故障、漏電の原因になります。
	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 故障、感電・けがのおそれがあります。

注意




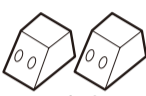







	必ず2人以上で施工を行う 腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。
必ず実行	施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する 取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

仕様

タイプ	自動洗浄小便器(自己発電タイプ)			
品番	US820CW	US810CW	US860CW	US800CW
小便器形状	トラップ着脱式 床置(大形)	トラップ着脱式 床置(中形)	トラップ着脱式 壁掛(大形)	トラップ固定式 壁掛(低リップ)
商品寸法 (幅)×(奥行き)×(高さ)	440×420× 1125	390×380× 1020	470×360× 955	390×420× 1025
商品質量	約52.0kg	約43.0kg	約38.0kg	約42.0kg
電源	自己発電 ※バックアップ用電池あり			
使用温度範囲	0~40℃			
感知距離	600mm(白紙 300の場合)			
感知必要時間	5秒以上(5秒未満では作動しません)			
使用水	水道水および飲用可能な井戸水			
給水圧力	最低必要水圧0.07MPa(10L/min. 流動時) 最高水圧0.75MPa(静止時)			
感知(便器)洗浄吐水量	使用状況に応じて2~4L/回に自動調節(ファジー制御)			
前洗浄機能	「切(工場出荷時)」と「0.5L/回」と「2L/回」を切替スイッチで変更可能			
設備保護洗浄	未使用時間24時間ごとに1回約4Lの洗浄			
給水接続	15A(接続ねじPJ1/2)			
排水接続	50鉛管またはVU50、VP50(床置の排水ソケットは専用TOTO品を使用)			

同梱部品


■部品があるか、下記を参照して確認してください。

上ふた		目皿	
	(1個)		US810型 US820型 US860型 (1個)
	US800型 のみ (1個)		
固定片		バックハンガー	
	固定片 (2個)		木ねじ一式 (木ねじ6本) (ゴムシール2個)
US810型 US820型 のみ			バックハンガー (2個)
			木ねじ一式 (木ねじ6本) (ワッシャー2枚)
		US800型 US860型 のみ	
給水金具		その他	
	開閉工具 (1個)		止水栓 (1個)
	クイックファスナー (1個)		結束バンド (1個)
		バックアップ用電池 (1個)	
		バックアップ用電池 上面に付設	
		お客様に必ず お渡しください	
		取扱説明書 (1部)	
		施工説明書 (1部)	

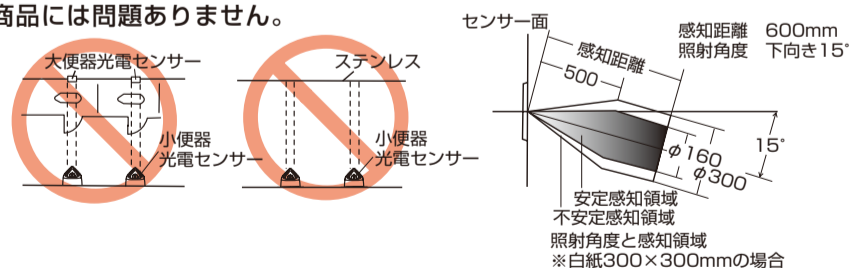
●排水金具(排水ソケットまたは壁フランジ)は別梱包です。

取り付け前のご注意

警告

	浴室内などの湿気の多い場所に設置しない 故障、漏電の原因になります。
---	---------------------------------------

- ・水道工事は十分に工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- ・給水圧力範囲は最低必要水圧0.07MPa(10L/min 流動時)、最高水圧0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- ・再生水および異物を多く含む水には使用できません。
- ・センサー面は傷つけないよう十分ご注意ください。
- ・電気器具ですから、水をかけないよう注意してください。
- ・センサーの照射角度および感知距離は、図のとおりです。なお、小便器の前に手すりなどを設置する場合は、光電センサーの感知領域内(安定感知領域内および不安定感知距離内)に障害物が入らないように設置してください。また、光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場所への設置や、光電センサー同士(大便器自動洗浄システム用光電センサーを含む)が対向するような設置は誤作動を生じますので避けてください。
- ・強い太陽光が入る環境では作動しない場合があります。
- ・インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
- ・梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。



作動の仕組み

① 感知 ●小便器に接近するとセンサーが感知します。 	② 本洗浄 ●使用後、小便器より離れると小便器を本洗浄します。 	前洗浄 ●使用前に、小便器を洗浄します。 注意 前洗浄する場合は、取付方法⑧(前洗浄の設定)をご参照ください。 	設備保護タイマー ●長時間小便器を使用しないと、24時間経過するごとに自動的に洗浄し、小便器排水管の乾きを防ぎます。 	掃除モード ●光電センサーに掃除用磁石(別売品)を近づけると、人が小便器の前に立っても感知しなくなり清掃時に便利です。10分たつと、通常モードに戻ります。 
---	--	---	---	--

完成図

US810型
(単位：mm)

HP510Rをご使用の場合、排水管は床仕上げ面より5~10mmの高さで立ち上げてください。また、リモデルなどで既設の排水ソケットから交換する際は、排水管を立ち上げ直してください。

US860型
(単位：mm)

※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

US820型
(単位：mm)

HP510Rをご使用の場合、排水管は床仕上げ面より5~10mmの高さで立ち上げてください。また、リモデルなどで既設の排水ソケットから交換する際は、排水管を立ち上げ直してください。

US800型
(単位：mm)

※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

※1 給水位置

各部のなまえ

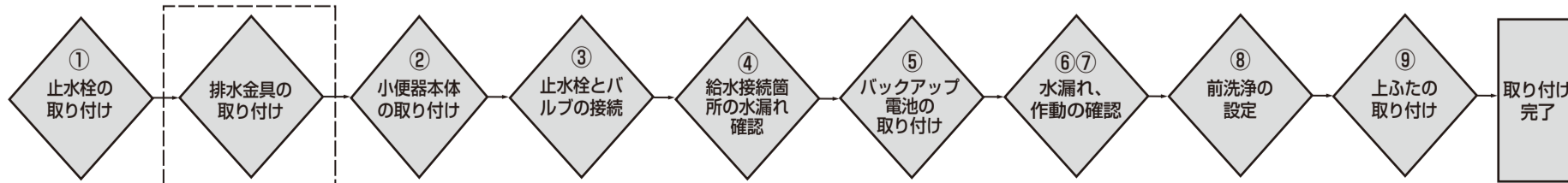
■US820型
■US810型

HP510Rをご使用の場合、排水管は床仕上げ面より5~10mmの高さで立ち上げてください。また、リモデルなどで既設の排水ソケットから交換する際は、排水管を立ち上げ直してください。

■US860型
■US800型

※汚垂石を設置した場合は汚垂石上面が床仕上げ面となります。

施工手順



※排水金具の取り付けは排水金具と同梱の施工説明書に従って取り付けてください。(T64CWを除く)

取付方法

1 止水栓の取り付け

注意

取り付け前に必ず通水し、給水管内のごみを除去してください。

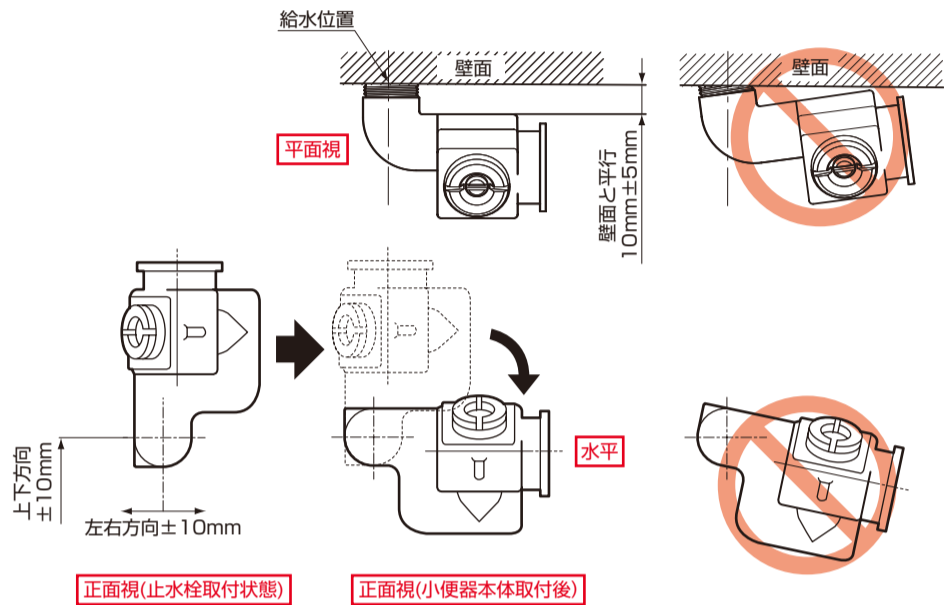
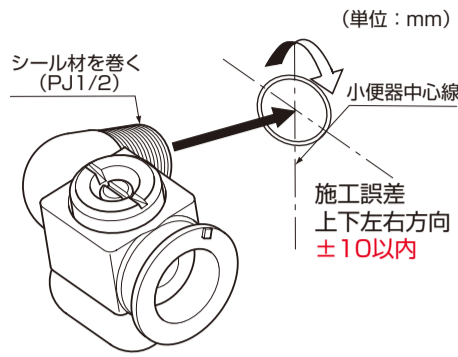
接続部にシーリング材を巻き矢印の方向へねじこみ、止水栓を立てた状態にしてください。

(小便器本体が取り付けしやすくなります)

小便器本体取付後、止水栓をさらに90° 矢印の方向へねじ込み床面、壁面と平行になるようにしてください。

※止水栓は施工誤差許容範囲内に施工してください。

※止水栓は床面・壁面に対して平行になるように取り付けてください。部品が陶器に接触して取り付けできない場合があります。



<参考>ワンタッチリングの取り外し/取り付けかた

注意



ワンタッチリングは、基本的に取り外さないやむを得ず取り外す場合は、下記要領を参照する
工具を使用しないでください。フック部が破損し、取り付けが不十分となり水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



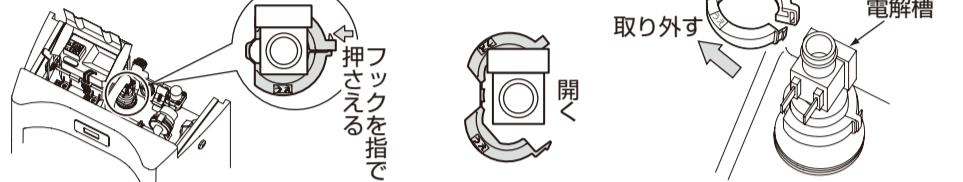
取り付け後は電解槽(またはホース継手)を少し動かして、ワンタッチリングがきちんと固定されていることを確認する
ワンタッチリングの取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

<取り外しかた>

※取り外す前に、通電・通水がないことを確認してください。

①ワンタッチリングのフックを指で押さえる。〔図A〕

②フックが外れますので〔図B〕、ワンタッチリングを開いて取り外す。〔図C〕



<取り付けかた>

※取り付け前に、電解槽(またはホース継手)がスプレッターに差し込まれていることを確認してください。(電解槽の場合は、ファストン端子が前面側に向きます)

①ワンタッチリングには上下の方向性があります。

「うえ」マークを上にして、電解槽(またはホース継手)のつば部を抱き込むように仮はめする。〔図D〕

②ワンタッチリングは、フック位置が正面から見て右側もしくは左側に位置しないと取り付けられないようになっています。〔図E〕

フックが右側もしくは左側に位置するようにして、ワンタッチリングの両端を指で押さえて、フックをはめあい取り付ける。〔図F〕



2 小便器本体の取り付け<US810型・US820型>

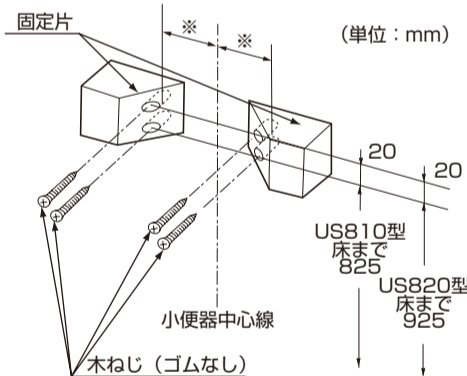
※小便器本体を取り付ける前に必ず排水金具を取り付けてください。取り付けの際は排水金具と同梱の取付説明書に従って取り付けてください。(T64CWを除く)

また、リモデルなどで既設排水ソケットから交換する際は、排水管を立ち上げ直してください。

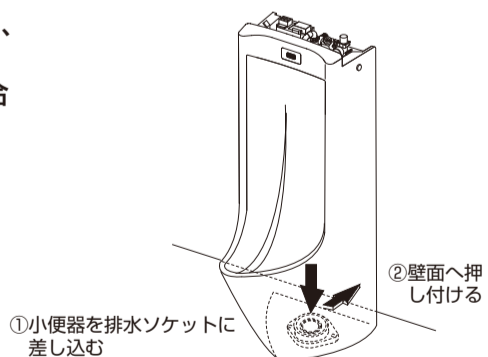
①図の位置に固定片を取り付ける。

※寸法

品番	※寸法
US810型	117
US820型	140



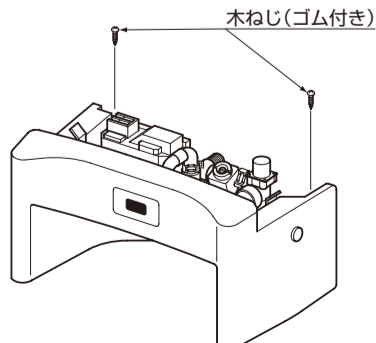
②小便器排水口周辺のごみを取り除き、小便器を排水ソケットに差し込む。小便器と壁面にすき間が生じる場合は小便器を壁面に押し付ける。



③小便器後面を壁面につけた状態で木ねじを取付穴から固定片にねじ込み、小便器を固定する。

※木ねじを強く締め込み過ぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。

※小便器本体を止水栓に当てないよう、ご注意ください。

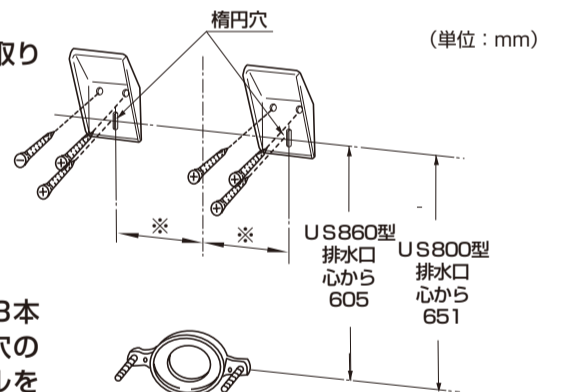


2 小便器本体の取り付け<US860型・US800型>

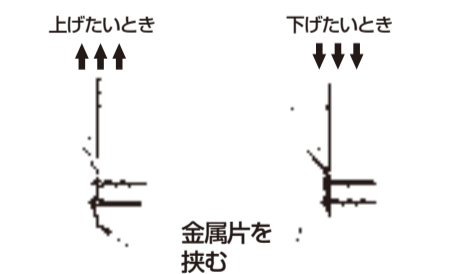
①図の位置にバックハンガーを取り付ける。

※寸法

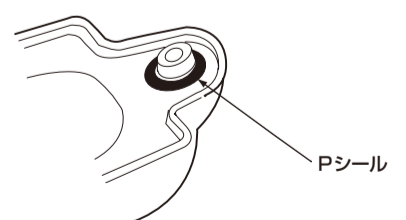
品番	※寸法
US860型	136
US800型	133.5



※バックハンガーは最初から3本の木ねじで固定せず、楕円穴のみで仮止めします。Pシールを付けずに小便器を掛けて所定の位置になるよう調整、本固定します。その際、小便器が所定の高さにつかない場合は、バックハンガーの木ねじをゆるめ、壁との間に金属片を挟んで調整します。



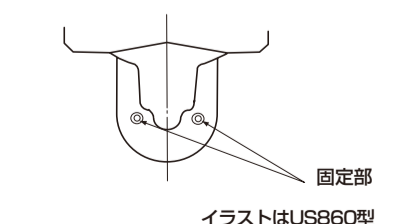
②小便器排水口周辺のごみや水分を取り除き、Pシールを小便器排水口に取り付ける。



③小便器をバックハンガーに掛け、フランジのボルトで小便器下部を固定する。

※ナットを強く締め込み過ぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。

※小便器本体を止水栓に当てないよう、ご注意ください。



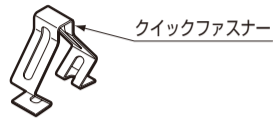
イラストはUS860型

③ 止水栓とバルブの接続

△ 注意

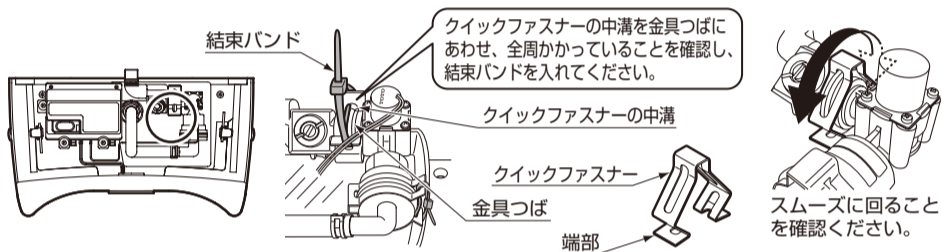
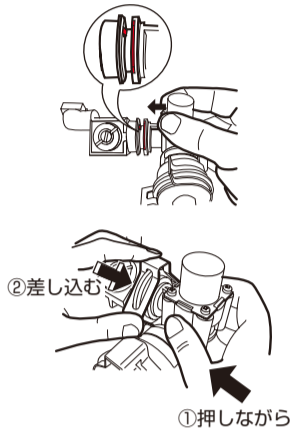
- バルブのOリングにごみの付着や傷付きがないよう注意する
Oリングにごみの付着や傷・はみ出しがあると水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- クイックファスナー接続後、スムーズに回転しない場合は接続作業をやり直す
クイックファスナーの接続が不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- クイックファスナー接続後、必ず結束バンドにて固定する
正しく固定しないと水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

止水栓とバルブの接続は、クイックファスナーで行う。
※クイックファスナーは止水栓の箱の中に入っています。



<取付方法>

- バルブのOリング養生紙を取り除く。
- バルブを真っすぐに止水栓へ差し込む。
※止水栓のつばの突起にバルブのつばの溝をあわせて差し込んでください。
- 止水栓とバルブのつばをあわせて、クイックファスナーを差し込む。
※バルブの差し込みが不十分な場合、クイックファスナーが正常に取り付けできません。
- クイックファスナーの中溝につばがしっかり入っているか確認し、前後に回転させて止水栓とバルブの接続状態を確認する。



※クイックファスナー取付方法は、取付説明書をご参照ください。

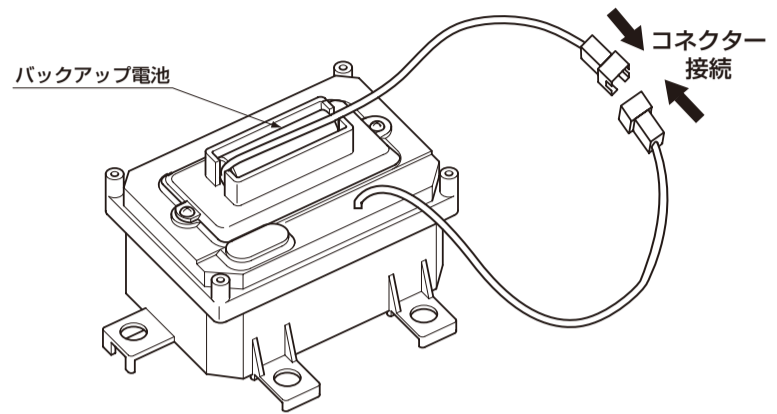
④ 給水接続箇所の水漏れ確認

配管接続の間違いが無いことを確認後、配管に通水し、配管と止水栓の接続、および止水栓とバルブの接続において水漏れがないことを確認する。

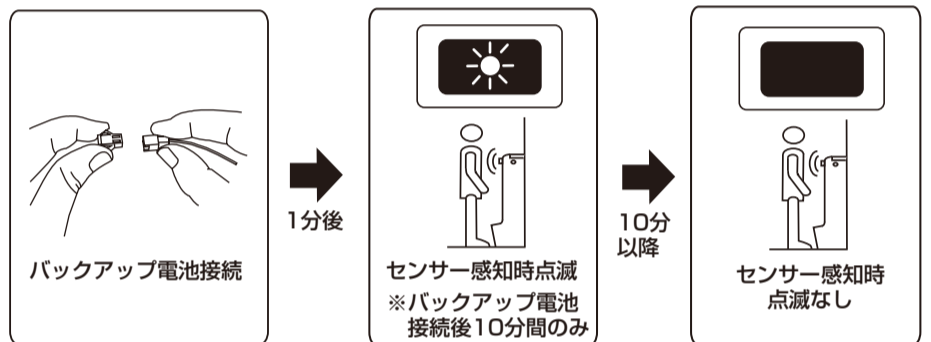
⑤ バックアップ電池の接続

注意

コントローラーのコネクターとバックアップ電池のコネクターを接続してください。



※バックアップ電池接続後、1分程度で光電センサーの感知状態を確認できるように光電センサー感知時にランプが点滅するようになります。感知時にランプが点滅するのは10分間でその後は電池寿命保持のため、ランプは点滅しなくなります。



⑥ 光電センサー感知距離調整

電源を入れる。光電センサーの感知距離調整を自動で行う。

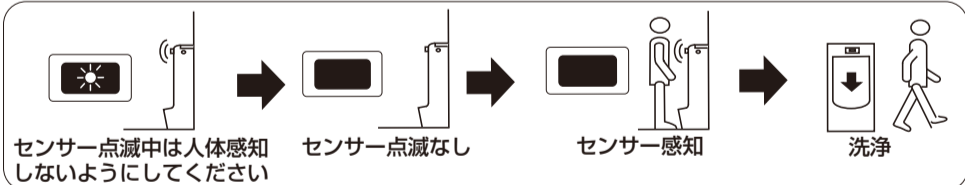
- ※バックアップ電池の接続後、1分間程度で光電センサー感知距離の自動調整機能が働きますが、人体以外の感知により光電センサーのランプが点滅し続ける場合は、感知距離調整中ですので、ランプが消えるまで人体による感知がないようご注意ください。
- ※ランプ点滅中に人体感知があると調整に要する時間が長くなります。ランプが消えれば調整完了です。

注意

必ず通水状態で電源を入れてください。

⑦ 便器洗浄動作確認

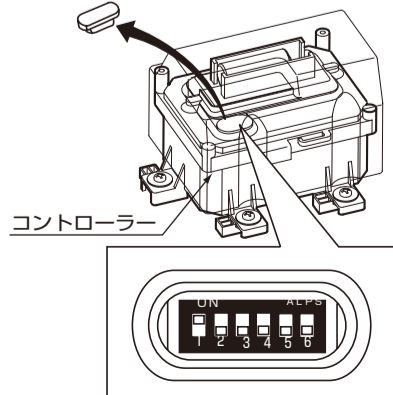
人体感知のない状態で、光電センサーのランプが消えていることを確認したあと、光電センサーを感知させて便器洗浄が動作することを確認する。



※人体感知のない状態で光電センサーが点滅しているときは、光電センサーが感知距離の自動調整を行っています。ランプの点滅が消えるまでお待ちください。(詳細は「⑥ 光電センサー感知距離調整」をご確認ください)

⑧ 前洗浄の設定

キャップを外す

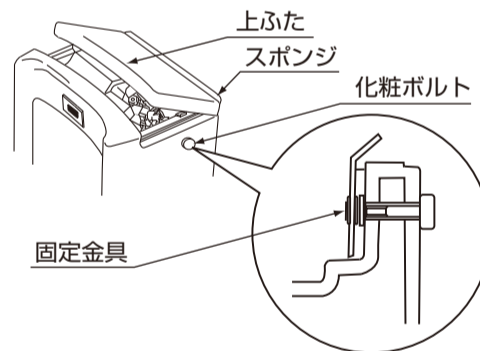


※前洗浄スイッチは工場出荷時、「切」に設定してあります。

- コントローラーの設定切替スイッチのキャップを外し、1番スイッチをONにする。
- 2番スイッチで前洗浄の水量を設定する。
ON ⇒ 0.5L
OFF ⇒ 2.0L
- 設定後はキャップを元どおりに取り付ける。

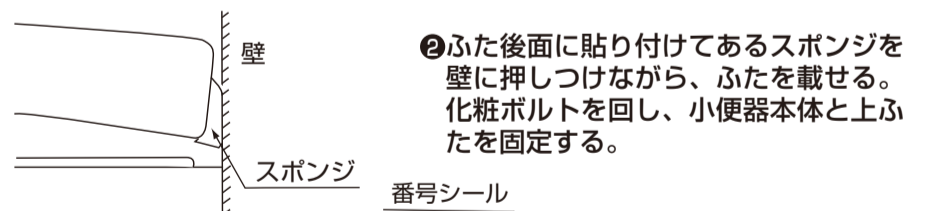
※3～6番のスイッチは前洗浄の設定とは関係ありません。誤って3～6番スイッチをONにした場合は必ずOFFに戻してください。

⑨ 上ふたの取り付け

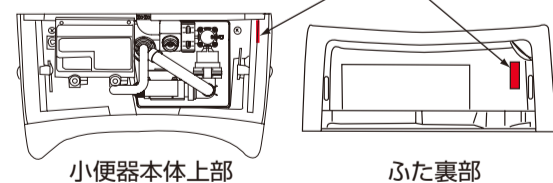


※固定金具は両端にあります。

- 固定金具がボルトの先端にくるように六角棒レンチ(呼び4)で化粧ボルトをゆるめる。



- ふた後面に貼り付けてあるスポンジを壁に押しつけながら、ふたを載せる。化粧ボルトを回し、小便器本体と上ふたを固定する。



※化粧ボルトを強く締め込み過ぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。

※上ふたを固定後、上ふたと小便器本体の間にすき間が生じた場合は、いったん化粧ボルトをゆるめ、すき間ができないよう両側均一に締め直してください。

※上ふたは必ず同一梱包品を取り付けてください。上ふたと小便器本体は一体で生産しておりますので、同一梱包品以外の上ふたと組み合わせますと、ガタツキを生じる場合があります。

※組み合わせは小便器本体の収納側面と上ふた裏面に貼り付けた番号シールの数字でご確認ください。